



町民の声を代表して 11人が質問

議会には、議員が、町長や教育長に対し、
町の仕事の状況や、将来の方針などを質問
する一般質問があります。
今回の議会では、11人の議員が、皆さん
の声を代表して熱弁を振るいました。

※原稿は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問

【問】 地方自治の本旨
憲法や、地方自治法等にのつとつた地方自治の理念である「地方自治の本旨(本来の趣旨)」を、町長はトップリーダーとしてどのように認識されているのか。これをふまえて本町の行政をどうな観点から実施されるのか。

【答】 「地方自治の本旨」は認識しており、私はリーダーとして「住民の意思に基づく住民自治の原理」を一番大切にして町政運営をすべきであると思っている。

新町長は、今議会が初議会になるので、町政運営の基本的な認識と、選挙公約である、「活気あるまちづくりの政策」として、人口減少ストップ、能勢に人を呼び込む能勢丸ごと観光化、農業振興と遊休農地対策、学校再編の再精査等を提言されており、これらの具体的な政策展開について町長の考え方を聞きました。



美谷 芳昭

【問】 農業振興と遊休農地対策
本町の農業振興策は、従来からの政策に、担い手不足による遊休農地対策として、農業公社構想があり、町民は期待しているが、この問題をどうするつもりか。

【答】 本町独自の地域農業モデルの確立をし、地域資源を軸とした能勢ブランド、農産物の開発に努めたい。また遊休農地対策は、国の施策を参考に、農地の流動化に向けた枠組みを構築したい。

新町長の今後の町政運営は！

人口減少ストップと町の活性化策

【問】 町長は選舉公報や、所信表明で、今後も少子高齢化が進み深刻な問題となるので、人口減少を食い止める政策と、町の活性化策が必要と言わっているがどの様な施策をするのか。

【答】 早期に組織の機構改革をして、観光課、活性課を新設し、農業振興あるいは働く場の確保、観光の受け皿づくりなど、総合的・相乗的な施策連携によりその可能性を研究してまいりたい。

【問】 学校再編問題

学校再編は教育委員会の方針で既に決定事項であり、議会も同意して関連予算をつけている。しかも事業は進捗しており、今更方針変更はかなり無理があると思うがどうするのか。

【答】 地域の中には未だ東地域に小学校を残してほしいとの声が多いから、今一度立ち止まり、特に東地域の子育て世代の保護者の意見を再確認したい。

【問】 意向によつては、東地域に小学校1校を残す。事業を進捗しながら再確認は不適切であるので事業は一時見合す。設計内容も再検討が必要で、同じ作るのなら良い学校にすべきでよい。よつて27年開校は遅れる。